

令和7年度（2025年度）有田川町文化賞

有田川町では、文化の振興を図ることを目的として「有田川町文化賞」を創設し顕彰を行っています。令和7年（2025年）11月7日（金）に第5回目となる「令和7年度（2025年度）有田川町文化賞贈呈式」を開催し、当町の文化振興や向上発展にご尽力されている皆さまに表彰状を贈呈しました。

文化賞

「みんなでまなぶ有田川町の歴史」 編集委員長 鶴田 倫雄さん

私たちが住む有田川町は歴史豊かな町ですが、町の歴史を知り、文化財に触れる機会は必ずしも多くありません。その現状を鑑み、鶴田委員長が中心となり、文化財保護審議会の委員が町の歴史や文化を分かりやすく伝える冊子の刊行を行うことが計画され、編集活動をけん引されました。

この冊子は、平成18年（2006年）の3町合併以来、有田川町の歴史を通史的にまとめた初めての事業であり、当町における文化振興や普及に大きく貢献したその功績は顕著であります。



写真（上段左から）＝選考委員 杉澤純次さん、小西宏和さん、永田忠司さん、上野山栄作さん、畑中泰武さん（下段左から）＝中山町長、鶴田倫雄さん、郷土研究部 今井敏郎さん、片嶋教育長

文化功労賞 文化協会清水支部郷土研究部

郷土研究部は、昭和52年（1977年）10月29日に清水町文化協会が設立されるとともに発足しました。山間へき地でも美しい自然に恵まれ、このふるさとの貴重な文化遺産や伝統文化を広く実生活に生かし、精神文化面の振興と新しい時代にふさわしい潤いのある生活文化を育てることが趣意であり、使命であると考えて活動を続けています。

また、毎年開催されている清水総合文化祭歴史文化展において、テーマを決めて研究発表を行い、会員相互の親睦と文化財の保護保存に貢献するとともに、地域文化の向上に努められています。

ジュニア文化奨励賞 丸野 瑛蓮さん

小学校1年生で初めて入賞して以来、こつこつと練習に励み、数々のコンクールで優秀な成績を収めています。

文字の技術を磨くだけでなく、高い集中力や道具を大切に扱う礼儀作法など、書道を通じて培われた能力は、どのような場面でも活かされています。

多くの書道展や大会での受賞実績は、ひたむきな努力の成果であり、今後より一層の成長と活躍が期待されます。



写真（左から）
＝片嶋教育長、
丸野瑛蓮さん、
吉備中学校
高垣校長先生

ジュニア文化奨励賞 松井 俊晴さん

幼稚園年長のころより、こども囲碁クラブ手談にて囲碁を習い始め、日頃は囲碁の書籍を読んで研究に励む他、インターネットでの対局や囲碁クラブでの実戦を通じて着実に力を付けています。

こつこつと練習を重ねた結果、多くの賞を受賞しており、令和7年（2025年）8月に開催された第15回くらしき吉備真備杯こども棋聖戦和歌山大会低学年の部では見事優勝し、全国大会への出場を決めました。

今後ますますの成長と活躍が期待されます。



写真（左から）
＝片嶋教育長、
松井俊晴さん、
鳥屋城小学校
吉田校長先生